

**TOKYO DENTAL COLLEGE
ALUMNI ASSOCIATION**

TDC Academia

2020



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

日本歯科医師会生涯研修認定

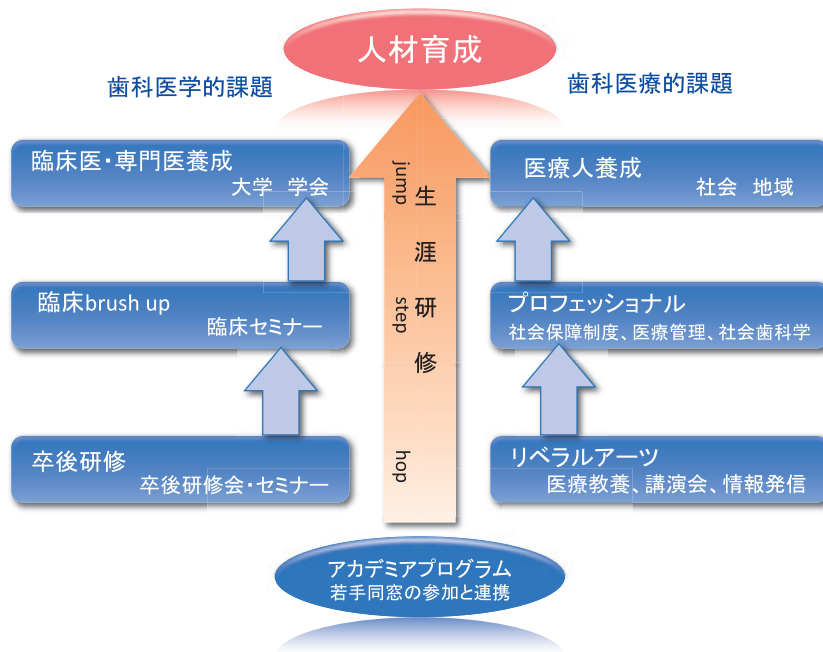
ご挨拶



同窓会会長 澁谷 國 男

同窓会の創設者である血脇守之助先生は「歯科医師である前に人間たれ」「枯れることのないエネルギーと知力、開拓者としてのフロンティア精神に才能の発掘と育成」を歯科医師としてのモットーとされました。その精神を基として「TDCアカデミア」が同窓会創立120周年を記念し、それぞれの学術研修会をまとめ、新たに発足し5年目を迎えます。卒業直後の方、ある程度臨床経験を積まれた方、より高度な臨床を目指している方などそれぞれのニーズに適応した生涯研修が企画されております。卒直後の方を対象として毎月第3水曜日、第4木曜日に開催されている卒後研修・勉強会では広い世代の方々と症例を通しての検討で信頼される歯科医師としての基礎を確立することができます。40年に及ぶ伝統ある臨床セミナーにおいては、最新の高度な技術やその理論を大学の先生方や臨床経験豊かな臨床家から学び、明日への臨床に応用することができます。また、広い社会的な視野に立って歯科界をみる医療教養を培うフォーラム等が企画されております。患者さんの幸せと、歯科医療に携われる生涯にわたる喜びをより確立するために、多くの皆様のご参加をお待ちしております。 (令和元年11月現在)

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じて、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、
一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。

参加無料

東京歯科大学水道橋校舎南棟 6F 会議室

TDC 卒後研修倶楽部

奇数月第4木曜日 20:00～

症例相談や経過報告などの発表を中心に皆でディスカッションしていく勉強会です。なぜこの患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

卒研症例検討会

偶数月第4木曜日 20:00～

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 19:30～

診療に必要な資料(レントゲンや口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。

実際どんなことをしているの？

TDC研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒研症例検討会

その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることはないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとても大切なツールと考えます。あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

— 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

症例1 ～どのようにゴールまで導きますか～

- 必要な情報は
- 根拠のある診断とは
- 治療方針はどのように立案しますか
- 実際の治療方法は
- どのような経過を予測できますか
- そして経過は
などなど…



症例2

～デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか～

- デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- 撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



様々なテーマで講演も開催いたします

プレゼンテーションとディスカッションが勉強会の中心ですが講演も企画しています。

2017年は「インプラント」、「総義歯」

2018年は「歯周基本治療」、「再生療法」、「審美修復」の講演を開催いたしました。



事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

「口腔粘膜疾患を見逃さない！」 ～口腔粘膜の病変を鑑別できる目を養おう～

「口内炎だと思っていたら口腔がんでした...。」昨年そんなテレビ報道が世間を騒がせ、多くの人を不安にさせました。日常の歯科臨床において口腔粘膜疾患の診断には苦慮しますが、我々歯科医には疾患を見極め、適切な診断、治療方針を説明し、患者さんを安心させることが求められます。近年、口腔がんの検診事業が全国に普及し、一部の市町村では成人検診の一環として制度化されつつありますが、受診率は他のがん検診と比較するとまだまだ低く、対象年齢も限定されているのが現状です。そして口腔がんの罹患率はデータの的にも確実に増加しています。

本セミナーでは、口腔がんのみならず多くの口腔粘膜疾患の **み・か・た** を学ぶことにより、未病を防ぎ、患者さんがより安心した生活を送る手助けができるよう、かかりつけ歯科医の役割を果たす為のノウハウや、クリニックの中でのスタッフも含めた役割分担、そして経過観察をする上で必要な知識を学んでいただくセミナーです。

講師：片倉 朗

(東京歯科大学口腔病態外科学講座)

高野 正行

(東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座)

野村 武史

(東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座)



日時：5月24日(日) 9:30～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11階

定員：60名

受講料：歯科医師：2万円

歯科衛生士：1万円 *但し歯科医師対象の内容となっております。

- 講演内容
- ・口腔粘膜疾患の診断と治療のポイント
 - ・部位別の口腔がんの鑑別の実際、検査法について
 - ・全身疾患と口腔の関連病変
 - ・受講者の症例によるカンファレンス講演



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| | |
|----------|------------------------|
| 口腔外科セミナー | |
| ふりがな | 出身校 (大学) |
| ご氏名 | 歯科医師・歯科衛生士 (年卒) |
| ご連絡先住所 | 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) |
| TEL | FAX |
| E-mail | |
| ご勤務先名 | |



片倉 朗

1985年 東京歯科大学卒業
 1991年 東京歯科大学口腔外科学第I講座 助手
 2003年～2004年 UCLA歯学部口腔外科・医学部頭頸部外科に留学
 2008年 東京歯科大学 口腔外科学講座 准教授
 2011年 東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座 教授
 2015年 東京歯科大学 口腔病態外科学講座 教授
 2019年 東京歯科大学水道橋病院 病院長



高野正行

1982年 東京歯科大学卒業
 1987年 東京歯科大学口腔外科学第I講座 助手
 1996年 東京歯科大学口腔外科学講座 講師
 2003年 東京歯科大学水道橋病院口腔外科 助教授
 2007年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座 准教授
 2010年 東京歯科大学水道橋病院副病院長, 口腔外科科長
 2013年 東京歯科大学水道橋病院副病院長, 病院教授
 2015年 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座所属



野村武史

1995年 東京歯科大学卒業
 2000年 東京歯科大学口腔外科学第I講座 助手
 2006年 東京歯科大学口腔外科学講座 講師
 2009年 カナダ・ブリティッシュコロンビア大学歯学部留学
 2013年 東京歯科大学口腔外科学講座 准教授
 2014年 東京歯科大学口腔がんセンター 准教授
 2015年 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 教授

高齢者や要介護者が受診者の中心となりつつある歯科医療の目的は「口腔機能の維持管理」すなわち「口腔に発生する疾病を予防してその機能を健全に保ち、食べられることを継続すること」です。口腔機能を直接的に失うことになる口腔粘膜疾患の代表は「口腔癌」ですが、いずれの口腔粘膜疾患も症状が進めば食べるという観点からQOLの低下に繋がります。また、加齢により安静時唾液の量は減少し、また口腔粘膜の細胞代謝と免疫力は低下するため粘膜は病的変化が起きやすい状態に変化してゆきます。診療室に高齢者が増えれば粘膜疾患を診る機会も増えるということです。今回は、口腔粘膜の診察方法、日常で多い口腔粘膜の病気とその対処法について解説します。また、後半は受講者方に症例をお持ち寄り頂き、その症例で皆様とカンファレンス形式で講演を進めたいと思います。

(Akira Katakura)



「訪問診療に必要な義歯治療の勘所！」 ～訪問診療に対応できる義歯治療の知識とその実践～

超高齢社会になった今、訪問診療の重要性がさらに注目されています。通院していた患者さんが来院できなくなった場合にご家族の方から訪問診療を求められることも多くなりました。また、訪問診療を行う際に義歯の作製や修理の対応に悩んでいる方も多いと思います。そこで本セミナーでは訪問診療に必要な義歯とはどのような義歯か、その理論とテクニックについて学んで頂けるセミナーです

また、歯科衛生士が訪問診療中にどのようなサポートをしているか、口腔ケアについても学んで頂けます。訪問診療の経験のない先生や歯科衛生士にもわかりやすい講演となっていますので、是非参加ください。

講師：田中 五郎

(神奈川県開業)

綱川 周平

(茨城県勤務)



日時：6月14日(日) 10:00～16:00

場所：東京歯科大学
水道橋校舎新館11階

定員：80名

受講料：歯科医師：2万円 その他：1万円

講演内容：訪問診療に必要な義歯治療における

- 1) 基礎的知識と義歯作製法
- 2) 訪問先でのテクニックとその実践例



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| 訪問診療セミナー | |
|----------|------------------------|
| ふりがな | 出身校 (大学) |
| ご氏名 | 歯科医師・歯科衛生士 (年卒) |
| ご連絡先住所 | 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) |
| 〒 | |
| TEL | FAX |
| E-mail | |
| ご勤務先名 | |



田中五郎

1988年 東京歯科大学卒業
加藤歯科医院(加藤武彦院長)勤務
横浜市立市民病院口腔外科(河内四郎部長)にて研修
1990年 田中歯科医院勤務
1992年 田中歯科医院院長

横浜市立石川小学校学校歯科医
全国訪問歯科研究会(加藤塾)会員
加藤塾総義歯研究会会員
DSM(デンタル・スタッフ・ミーティング)会員
総義歯臨床研究会「車座」会員
日本顎咬合学会会員

主な著書

「私の総義歯印象法、総義歯という山の登り方 臨床のベストルートを求めて」村岡秀明 渡辺宣孝 榎本一彦編集:104-115、医歯薬出版、東京、2009。
「ニュートラルゾーンを基準とした総義歯の形態、1枚の写真ではじまる12人の義歯臨床」村岡秀明編:17-22、デンタルダイヤモンド社、東京、2010。
「デンチャースペース義歯」デンタルダイヤモンド社、東京、2016
「デンチャースペース義歯の作り方、食べる喜びを支える歯科医療のためのデンチャースペース義歯」加藤武彦監修:90-111、デンタルダイヤモンド社、東京、2018
「唾液による健康づくり」下野正基、奥田克爾:ヒョーロン
「食べられる口づくり口腔ケア&義歯」加藤武彦、黒岩恭子、田中五郎編集:医歯薬出版
「介護の基本を押さえよう」田中歯科医院:歯科衛生士vol38March:クインテッセンス出版、東京、2014



綱川周平

2009年 北海道大学歯学部卒業
2009年 東京歯科大学千葉病院臨床研修医
2010年 大網歯科医院勤務
2014年 つなかわ歯科医院勤務

全国訪問歯科研究会(加藤塾)会員
加藤塾総義歯研究会会員
DSM(デンタル・スタッフ・ミーティング)会員
総義歯臨床研究会「車座」会員

近年「地域包括ケア」「オーラルフレイル」といった言葉が多く聞かれるようになってきていますが、これは、ただ単に社会現象や社会的テーマとして表現された言葉ではなく、今まさに、我々歯科医が直接対応しなければならない問題です。診療室に来院する患者さんだけでなく、ご自宅や施設や病院で食べることに不自由な思いをされている患者さんに直接、医療を届けることが急務になってきています。しかし、一方で全身疾患や、機能の低下など、診療室よりも対応が難しい患者さんの割合が多いのも事実です。今回お話しさせていただく、私と綱川先生は、全国訪問歯科研究会「加藤塾」のメンバーで、以前より在宅往診に携わってきました。今までの経験をもとに、機能を回復させるためのデンチャースペース義歯の理論とテクニックと、それを基にした在宅往診の場での実践例を実際の患者さん症例をご覧いただきながら、また認知症をはじめとする、いろいろな全身疾患を持たれた患者さんへの対応を紹介したいと思います。

(Itsuro Tanaka)



口腔内スキャナーセミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー
実習型

「印象採得、デジタルの時代へ」

～1人1台で口腔内スキャンの勘所、体感してください！～

近年口腔内スキャナーの技術は目覚ましく進歩し、印象採得のデジタル化がいよいよ本格化してきたと感じられます。

スキャナーを導入することで、アナログ印象に比べ誤差が減少し、精度の向上につながるとともに、術者・患者さん両方にストレスフリーの診療が可能になります。

本セミナーの実習では、1人1台スキャナーを使用してしっかり学んでいただきます。顎模型をマネキンに装着し支台歯形成・スキャン・CAD/CAMソフトでのマージン設計・デジタルワックスアップまで一連の流れ(デジタルソリューション)を習得していただけます。

導入を検討している・興味はあるけど現状を知りたい、そんな方のために企画した入門セミナーです。

多くの先生方に口腔内スキャナーの魅力を知っていただきたく、午前の講演のみ参加も受付いたします。

講師：北原 信也 (東京都開業)

日時：7月12日(日)

① 9:00～11:45 : 講演

② 9:00～16:30 : 講演・実習

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11階

定員：① 30名(午前講演のみ参加)

② 10名(講演・実習 1日セミナー)

受講料：① 講演のみ : 1万円

② 1日セミナー : 7万円(器材費込)

: 6万3千円(前年度同窓会費納入者)



口腔内スキャナーセミナー

講演内容：

- 1) なぜ今、光学印象なのか。
- 2) デジタルワークフローの実際・ラボコミュニケーション
- 3) 光学印象時の支台歯形成
- 4) 口腔内スキャンとデジタルソリューションの勘所
- 5) 3Dプリンター応用法

実習内容

- 1) マネキンを用いた支台歯形成
- 2) 1人1台による口腔内スキャナーでの光学印象
- 3) デジタルソリューションの実際
- 4) ミリング・3Dプリンター(デモ)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| | | | |
|--------------|------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------|
| 口腔内スキャナーセミナー | | <input type="checkbox"/> 講演・実習 | <input type="checkbox"/> 講演のみ (どちらかに○をご記入ください) |
| ふりがな | 出身校 (大学) | | |
| ご氏名 | (年卒) | | |
| ご連絡先住所 | 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) | | |
| | 〒 | | |
| | TEL | | FAX |
| | E-mail | | |
| ご勤務先名 | | | |



北原信也

1989年 日本大学松戸歯学部卒業
 1992年 北原歯科医院開院
 2000年 ルウミネッセンス開院
 2003年 銀座ノブデンタルオフィス開院
 2007年 シンガポール歯科医師免許取得
 (現在 Asia Healthcare Dental Centre 非常勤)
 2012年 TEAM東京ノブストラティブデンタル
 オフィス開院
 医療法人社団聖功会理事長、TEAM東京
 代表

- ・日本大学客員教授 (松戸歯学部)
- ・日本大学歯学部兼任講師
- ・昭和大学歯学部客員教授
- ・日本臨床歯科医学会指導医
- ・日本歯科保存学会専門医
- ・日本歯科審美学会認定医
- ・日本臨床歯科医学会東京支部副会長 (SJCD)
- ・American Academy of Esthetic Dentistry (AAED) 会員

今世紀における歯科革命とも言われるデジタルデンティストリーの潮流は世界に拡がりを見せています。これは特別なことではありません。日常生活の中ではすでにデジタル化は当たり前、昨今ではAI (人工知能) があらゆる分野のキーワードとなっています。そんな世界的なデジタル化の波が私たちの歯科界にも大きな変革をもたらそうとしているのです。

現在の歯科治療はテクノロジーの発展の恩恵を受けることなく、いまだにアナログが主流です。特に日進月歩の医療分野でのデジタル化は私たち医療者側だけでなく患者へも様々なメリットをもたらすと考えられています。特に昨今の最新の材料であるジルコニアを使った補綴治療は現在CAD/CAMでのみ製作することができます。すなわちラボサイドではすでにデジタル化が始まっております。一方で私たちチェアサイドではようやく光学印象装置 (口腔内スキャナー) の市場が動き出したというところでしょうか。2011年私は3M C.O.S (チェアサイドオーラルスキャナー) の発売と同時に1号機を購入し、来るべきデジタルデンティストリーへの時代に備えようと考えました。この口腔内スキャナーを使えば、従来の印象材を使った“印象採得”という患者の苦痛が解放されることを経験しましたが、当時は多々問題もあり、即臨床投入というわけにはいきませんでした。その後も世界の動向にも注目していましたが、昨今では多くの問題点もほぼ解決され、臨床に即使用できる性能を持ち合わせた第3世代、第4世代の機種が誕生しました。

今回、私はデジタルデンティストリーの全体像を想像しつつ、一体どこに向かうのか? 皆様には実機の口腔内スキャナーを触っていただき、ワークフローを体験しつつデジタルデンティストリーの未来についても一緒に考えてみたいと思います。

(Nobuya Kitahara)

（キリトリ線）



「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

臨床研修医や研修を終えて間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々臨床に取り組んでいらっしゃると思います。その一方で臨床経験が短いゆえに手技に対する不安もあるのではないのでしょうか。

そこで実践スキルの向上に特化し、支台歯形成、テンポラリークラウンの作製、補綴設計、豚顎を用いたより実戦に近い形での歯肉剥離（フラップ手術）と縫合、抜歯、歯肉縁下になった歯根の挺出法（MTM）を、分野ごとにブースに分け少人数のテーブルクリニック形式の実習を通して学びます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。

一昨年、昨年と大好評だったセミナーに新たに支台歯形成を取り入れた第三弾です。明日からの臨床にすぐに役立つセミナーです。是非この機会に受講しませんか。お待ちしております。

講師：学術委員（東京歯科大学同窓会）

日時：9月6日（日）9：00～16：30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11階

定員：60名

受講料：2万円（器材費込）

| | |
|----------|----------------------|
| 実習内容：補綴1 | 支台歯形成とテンポラリークラウンの作製 |
| 補綴2 | 補綴設計の考え方 |
| ペリオ | フラップ手術（切開、剥離、縫合）豚顎使用 |
| 口腔外科 | 抜歯・縫合豚顎使用 |
| 矯正（MTM） | エクストルージョン |

*本セミナーではテキストをWEB上からダウンロードしていただきます。つきましては、個人のE-mailアドレスの登録が必須となりますので必ずご記入ください。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。
（同窓会からの器材の貸し出しはございません。）



※同窓会HP（<http://www.tdc-alumni.jp>）からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| | |
|----------------------------|---------|
| ベーシックハンズオンセミナー | |
| ふりがな | 出身校（大学） |
| ご氏名 | （年卒） |
| ご連絡先 自宅・勤務先（どちらかに○をしてください） | |
| 住所 〒 | |
| TEL | FAX |
| 必須 E-mail | |
| ご勤務先名 | |

実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にしていきたいと思えます。



支台歯形成と テンポラリークラウンの作製

効率よく支台歯形成できますか？
短時間で作製するコツ



補綴設計の考え方

写真はイメージです。
このような患者さんが来たら皆さんは何を
診てどのように治療計画を立てますか？



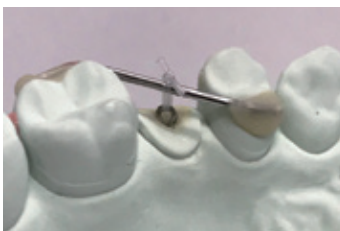
フラップ手術

切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？
切開線の設定とデブライドメントのコツ
(豚顎骨実習)



抜歯・縫合

抜歯・縫合の基本を取り入れる
(豚顎骨実習)



MTM

エクストルージョン
装置の実際、何に気を付ければいいのか？
(石膏模型実習)



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

ペリオ実習セミナー

東京歯科大学同窓会

「今こそ学ぼうスタンダードペリオ」
～歯周基本治療からフラップ手術、再生療法を見すえて～

歯周組織の再生は今や現実のものとなりましたが、良好な治療結果を得るためには、歯周基本治療や歯周外科治療の正しい知識や技術の習得が必要不可欠です。

今回、歯周病治療の根幹である歯周基本治療、そしてフラップ手術を一から習得していただくためのセミナーを企画しました。

正しい歯周治療のプロトコルを確認し、豚顎実習では、より臨床に近い形で切開から縫合まで実践していただきます。

そして、基礎の習得の先にある再生療法に関しては、その臨床例や可能性について講演をとおして学びます。

今こそスタンダードペリオをしっかりとマスターし、ご自身の歯周治療、そして再生療法への基礎固めをしましょう。

講師：齋藤 淳
(東京歯科大学歯周病学講座)

今村健太郎
(東京歯科大学歯周病学講座)

片山 明彦
(東京都開業)



日時：10月4日(日) 9:30～16:30
場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11階
定員：30名
受講料：5万円(器材費込)
4万5千円(前年度同窓会費納入者)

講演内容：

- 1) 歯周治療のプロトコル
- 2) 適切な器具が成功への第一歩、スケーリング・ルートプレーニングとシャープニングの基礎
- 3) 歯周基本治療と歯周外科治療
- 4) 歯周組織再生療法の概念と臨床

実習内容：

- 1) シャープニング実習
- 2) フラップ手術実習
 - ・フラップ(歯肉弁)の形成(全層弁と部分層弁、Papilla preservation technique)
 - ・不良肉芽の除去、スケーリング・ルートプレーニング
 - ・縫合



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| ペリオ実習セミナー | |
|-----------|------------------------|
| ふりがな | 出身校 (大学) |
| ご氏名 | (年卒) |
| ご連絡先 | 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) |
| 住所 | 〒 |
| TEL | FAX |
| E-mail | |
| ご勤務先名 | |



齋藤 淳

1989年 東京歯科大学 卒業
 1993年 東京歯科大学大学院歯学研究科 修了 博士(歯学)
 1994年 日本歯周病学会歯周病専門医
 米国 New York 州, State University of New York at Buffalo, Dept. of Oral Biology 客員研究員 (Director: Prof. Robert J Genco)
 1998年 東京歯科大学歯科保存学第二講座 (現 歯周病学講座) 講師

1999年 齋藤歯科 (仙台市青葉区) 副院長, 東京歯科大学歯科保存学第二講座 非常勤講師
 2002年 日本歯周病学会指導医
 2003年 宮城高等歯科衛生士学院 教務部長
 2007年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座 講師 (水道橋病院総合歯科)
 2011年 東京歯科大学歯周病学講座 主任教授
 2015年 日本歯周病学会常任理事
 2017年 日本歯科保存学会常任理事, Member, Osteology Expert Council, Osteology Foundation



今村健太郎

2010年 東京歯科大学卒業
 2011年 東京歯科大学千葉病院臨床研修歯科医修了
 2014年 日本歯周病学会認定医
 2015年 東京歯科大学大学院歯学研究科 修了 博士(歯学)
 2015年 東京歯科大学歯周病学講座 助教
 2016~18年 NYU College of Dentistry 客員研究員
 2019年 東京歯科大学歯周病学講座 講師



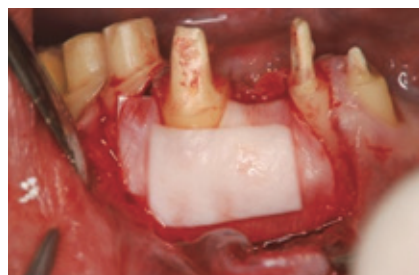
片山明彦

1999年 東京歯科大学歯学部卒業
 1999年 慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室入局
 2005年 東京歯科大学大学院歯学研究科 修了 博士(歯学)
 2005年 東京歯科大学歯周病学講座 助教
 2007年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 非常勤講師
 2007年 神田デンタルクリニック開設, 稲毛デンタルクリニック開設

2012年 有楽町デンタルオフィス開設 (神田デンタルクリニック移転)
 2013年 東京歯科大学歯周病学講座非常勤講師
 2015年 東京歯科大学水道橋病院臨床講師

歯周炎の原因である歯周病原細菌と宿主の相互作用については、これまでの研究により多くの知見が示されており、新たな治療法の提案もなされていますが、現在でも治療の主体はデンタルバイオフィルムの機械的除去であることに変わりありません。歯周基本治療は、病因因子やリスクファクターの制御に有効です。しかし、中等度以上の歯周炎への対応においては、歯周外科治療は重要かつ有効な治療オプションとなります。

今回、歯周外科治療の基本を整理するとともに、歯周組織再生療法の考え方や臨床成果についてお話いたします。実習では、再生療法につながる歯周外科治療の基本手技を習得していただきます。一人ひとりのニーズに応じた対応をいたしますので、是非、ご参加ください。
 (Atsusi Saito)



救急医療教育セミナー

東京歯科大学同窓会

「患者さんが急変したとき、あなたは何ができますか」 ～高性能シミュレータ SimMan™ を使用した救急トレーニング～

人口の高齢化に伴い有病者の歯科診療の割合も増加している現在、日々の臨床において患者さんの全身状態を把握することは我々歯科医師の義務です。しかしその一方で、歯科診療時における突発的な事故や急変事例も報告されており、その対策として一次救命処置 (BLS) や二次救命処置 (ACLS) のトレーニングコースが開催されていますが歯科に特化した救急トレーニングは多くありません。

歯科独自の偶発症を理解し、予期せぬ事態に迷わず対応できるようになるノウハウを画期的な完全ワイヤレスの次世代患者シミュレータ SimMan™ (Leardal 社製) を使用してリアルに訓練します。

昨年大好評だったセミナーです。

歯科診療時における救急の現場において重要な時間管理、意思決定、スタッフとのコミュニケーションをとることを、全国歯科大学で唯一東京歯科大学のみが所有している SimMan™ を患者モデルとして使用しながら対応法を訓練し、いざという時にあわてない歯科医師であるための準備をしませんか。

*実習が主体のセミナーですので動きやすい服装で受講して下さい。

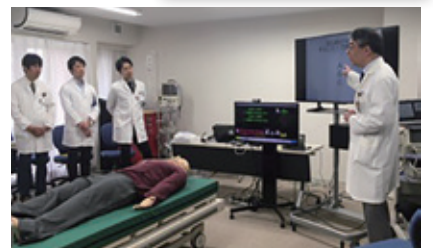
講師：鈴木 昌 (東京歯科大学市川総合病院救急科)
小鹿恭太郎 (東京歯科大学市川総合病院麻酔科)

日時：① 4月19日(日) 9:30～16:30
② 10月18日(日) 9:30～16:30
(①、②のどちらか1日を選択)

場所：東京歯科大学市川総合病院 スキルスラボ

定員：①②ともに各8名

受講料：5万円(昼食代、器材費込)
4万5千円(前年度同窓会費納入者)



実習内容：一次救命処置と AED

- ・気道確保と呼吸の評価
- ・静脈確保
- ・心電図モニター実習

二次救命処置

- ・偶発症に対応する実習 (SimMan™ を使用した実習)

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) から Web 申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 救急医療教育セミナー 受講希望日 <input type="checkbox"/> 4月19日 <input type="checkbox"/> 10月18日 (どちらかに○をご記入下さい) | |
| ふりがな | 出身校 (大学) |
| ご氏名 | (年卒) |
| ご連絡先 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) | |
| 住所 〒 | |
| TEL | FAX |
| E-mail | |
| ご勤務先 | 名 |



鈴木 昌

1992年 慶應義塾大学医学部卒業
 1992年 慶應義塾大学病院研修医
 2011年 慶應義塾大学講師 (医学部救急医学)
 2017年 東京歯科大学教授
 市川総合病院救急科部長・教授

日本救急医学会評議員 専門医・指導医
 日本内科学会評議員 認定医制度審議会専門委員
 救急委員会委員長 専門医
 米国内科学会上級会員



小鹿恭太郎

2006年 東京歯科大学卒業
 2006年 東京歯科大学千葉病院臨床研修歯科医
 2011年 東京歯科大学博士号 受領 (歯科麻酔学)
 2011年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科 臨床専修医
 2011年 東京歯科大学歯科麻酔学講座 助教
 2012年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科 助教
 2017年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科 講師

日本歯科麻酔学会認定医、専門医

歯科領域の致命的偶発症には、心停止、急性心筋梗塞をはじめとした急性冠症候群、急性脳血管障害、アナフィラキシー、上気道閉塞などが挙げられます。人口構成の高齢化と医療環境の変化に伴い、これらの偶発症に遭遇する頻度は今後ますます高まることが予想されます。このため、歯科領域において致命的偶発症に対する生涯教育の充実が必要とされます。

しかし、致命的偶発症に遭遇することは稀であり、そして予期せずに突然に遭遇することになります。したがって、実地臨床や知識を重視した座学によってその対応を学ぶことには限界があります。そこで、このたびシミュレーション教育技法を用いた教育プログラムを準備しました。具体的には、基本的手技を各種シミュレーター（一次救命処置 訓練用のマネキン、AEDトレーナー、気道管理用トレーナーなど）で訓練をしていただいた後、ビデオ映像を用いて各種病態の患者イメージを解説しながら仮想体験していただき、次に High fidelity simulator (SimMan™、Leardal 社製) を用いて訓練を繰り返して行う実習内容となっております。 (Masaru Suzuki)



「臨床ガイドラインを歯科診療にどのように活用するのか」 ～エビデンスと個の多様性～

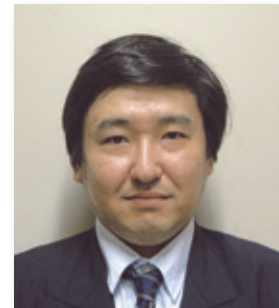
近年、歯科医療においても、エビデンスが重視されるようになり、多くの専門学会等において臨床ガイドラインが作成されています。臨床ガイドラインは、臨床決断だけでなく、歯科医の法的責任や裁量権とも無関係ではありません。

一方で、生体には多様性があるだけでなく、個々の患者のナラティブ（物語）は臨床決断において極めて重要であることはいまでもありません。そのため、歯科医師は日常の歯科診療において臨床ガイドラインを熟知し、これらの知見に沿った診療を実施する責務があるとともに、個の多様性に最大限に配慮した歯科医療が求められます。

そこで本フォーラムでは、これまで公表されている臨床ガイドラインについて理解を深めるとともに、その運用とナラティブとの融合と調和について参加者の皆さんとともに考えていこうと思います。

「臨床ガイドラインとは何か」

講師：杉原 直樹
(東京歯科大学衛生学講座)



「歯科診療における主な臨床ガイドラインとその活用」

口腔外科編・補綴編・保存編・予防編

講師：学術委員 (東京歯科大学同窓会)

- 1987年 東京歯科大学卒業
東京歯科大学大学院入学
- 1992年 東京歯科大学大学院修了
東京歯科大学衛生学講座助手
- 1993年 東京歯科大学衛生学講座講師
- 2006年 米国ミシガン大学歯学部に留学
- 2010年 東京歯科大学衛生学講座准教授
- 2014年 東京歯科大学衛生学講座主任教授

日 時：11月8日(日) 12:00～16:30
場 所：東京歯科大学 水道橋校舎本館13階
定 員：80名
受 講 料：3千円(新進会員 1千円、準会員 無料)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

| 医療教養フォーラム | |
|-----------|------------------------|
| ふりがな | 歯科医師 () 大学 () 年卒 () |
| ご氏名 | コ・デンタルスタッフ () その他 () |
| ご連絡先 | 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) |
| 住 所 〒 | |
| TEL | FAX |
| E-mail | |
| ご勤務先名 | |

卒後研修 …………… 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

臨床セミナー …………… すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

医療教養 …………… 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

| 卒後研修 | |
|----------------|-----------------|
| TDC 卒後研修倶楽部 | 奇数月第4木曜日 20:00～ |
| 卒研症例検討会 | 偶数月第4木曜日 20:00～ |
| デンタルスタッフミーティング | 第3水曜日 19:30～ |

| 臨床セミナー | |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月24日(日) | 口腔外科セミナー 「口腔粘膜疾患を見逃さない！」 ～口腔粘膜の病変を鑑別できる目を養おう～ 講師：片倉 朗(東京歯科大学口腔病態外科学講座) 高野 正行(東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座) 野村 武史(東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座) |
| 6月14日(日) | 訪問診療セミナー 「訪問診療に必要な義歯治療の勘所！」 ～訪問診療に対応できる義歯治療の知識とその実践～ 講師：田中 五郎(神奈川県開業) 綱川 周平(茨城県勤務) |
| 7月12日(日) | 口腔内スキャナーセミナー 「印象採得、デジタルの時代へ」 ～1人1台で口腔内スキャンの勘所、体感してください！～ 講師：北原 信也(東京都開業) |
| 9月6日(日) | ベーシックハンズオンセミナー 「すぐに役立つ臨床のコツ」 ～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～ 講師：学術委員(東京歯科大学同窓会) |
| 10月4日(日) | ペリオ実習セミナー 「今こそ学ぼうスタンダードペリオ」 ～歯周基本治療からフラップ手術、再生療法を見すえて～ 講師：齋藤 淳(東京歯科大学歯周病学講座) 今村健太郎(東京歯科大学歯周病学講座) 片山 明彦(東京都開業) |
| 4月19日(日) 10月18日(日) | 救急医療教育セミナー 「患者さんが急変したとき、あなたは何ができますか」 ～高性能シミュレータ SimMan™を使用した救急トレーニング～ 講師：鈴木 昌(東京歯科大学市川総合病院救急科) 小鹿恭太郎(東京歯科大学市川総合病院麻酔科) |

| 医療教養 | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月8日(日) | 医療教養フォーラム 「臨床ガイドラインを歯科診療にどのように活用するのか」 ～エビデンスと個の多様性～ 「臨床ガイドラインとは何か」 講師：杉原直樹(東京歯科大学衛生学講座) 「歯科診療における主な臨床ガイドラインとその活用」 口腔外科編・補綴編・保存編・予防編 講師：学術委員(東京歯科大学同窓会) |

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎本館
 - 東京歯科大学水道橋校舎南棟
 - 東京歯科大学水道橋校舎新館
- JR「水道橋駅」東口下車（御茶ノ水寄り出口）
都営三田線「水道橋駅」徒歩5分
- 東京歯科大学市川総合病院
- JR総武線「市川駅」下車 2番停留所より、京成バス「市川学園」行き（緑色表示）にて「市川総合病院」下車、約15分
- * 駐車場は用意できません。車での来場はご遠慮ください。
* セミナー会場は直前のご案内にてご確認ください。

受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。
所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。
FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)
<http://www.tdc-alumni.jp>

必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
 - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
 - ③職種 歯科医師（出身大学・卒業年度）、臨床研修医（出身大学）
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- * もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

臨床セミナー

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙（銀行・郵便局両用）をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
（ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。）
但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

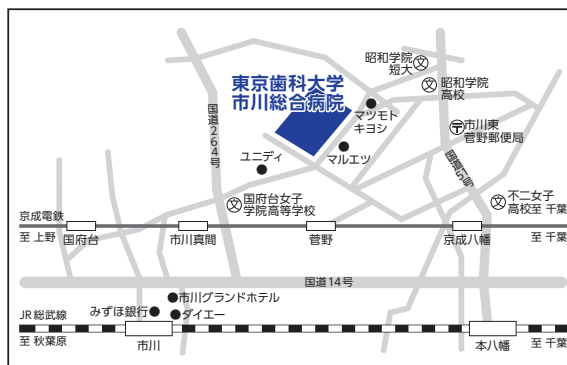
医療教養

- ・受付は先着順とし、受講票および受講案内の送付はございません。FAXあるいは同窓会HPよりお申し込みの上、セミナー当日、会場までお越し下さい。満席の場合はこちらからご連絡いたします。
- ・参加料は、セミナー当日受付にてお支払いください。

* 東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。



東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859
URL <http://www.tdc-alumni.jp>

